

弘前大学学報



外国人教師館（クリスマスver.）

第 117 号
平成25年12月号

学内ニュース

- 平成25年度 弘前大学学術特別賞授与式
・受賞者講演会を開催 ----- 1
- 平成25年度弘前大学高大連携シンポジウムを開催 ----- 2
- 知財塾（医学編・初級編・中級編）及び
地域共同研究センター事業説明会を開催 ----- 3
- 「推薦入試I合格者の入学前交流プログラムを実施 ----- 4

諸会議 ----- 5**人事**

- 人事異動 ----- 7

主要日誌 ----- 8**学内規則** ----- 9

平成25年度 弘前大学学術特別賞授与式 ・受賞者講演会を開催

12月13日（金）、平成25年度弘前大学学術特別賞授与式を執り行いました。弘前大学学術特別賞は、独創的かつ完成度の高い数編の論文を対象とする「弘前大学学術特別賞（遠藤賞）」と、独創的かつ著者の将来性を伺わせるに足る1編の論文を対象とした「弘前大学若手優秀論文賞」があり、弘前大学の研究水準の向上に著しい貢献をした論文を顕彰することにより、研究水準の一層の向上を図ることを目的として、平成23年度に創設されたものです。

今年度は、学術特別賞（遠藤賞）2名、若手優秀論文賞2名の受賞があり、佐藤学長から表彰状と盾などが贈られるとともに、「受賞論文は弘前大学を代表する研究成果であり、この受賞をきっかけとして、さらなる研鑽を期待する」との挨拶がありました。続いて、学術特別賞（遠藤賞）の創設者である遠藤前学長からの挨拶の後、各受賞者から、研究を支援いただいた方々に対する謝辞と、今後一層研究を進展させていきたい旨のスピーチがあり、会場からは大きな拍手が贈られました。授与式には役員等多数の出席者があり、大変盛大な式典となりました。

授与式終了後には、受賞者の記念講演会を開催し、学術特別賞（遠藤賞）を受賞した理工学研究科 浅田 秀樹 教授、澤田 英夫 教授、若手優秀論文賞を受賞した医学研究科 飯野 香理 助教、保健学研究科 門前 暁 助教が、それぞれ受賞論文に関する研究内容について講演を行いました。

今回の講演会には、教職員のみならず多数の学生の参加があり、各講演者の高い水準の研究内容に触れる貴重な機会となりました。



表彰状を授与される澤田教授



浅田教授による講演



佐藤学長、遠藤前学長と受賞者4名
(左から門前助教、澤田教授、遠藤前学長、佐藤学長、浅田教授、飯野助教)

平成25年度弘前大学高大連携シンポジウムを開催

21世紀教育センターの主催による平成25年度弘前大学高大連携シンポジウムを、12月14日(土)に本学総合教育棟大会議室において開催しました。

高大連携シンポジウムは、高校と大学の教育内容をお互いに知り、意見交換をする目的で開催され、毎年度テーマを決め、高校教員と大学教員によるパネルディスカッション形式で平成14年度から実施しています。

今年度で第12回目となる高大連携シンポジウムは、「キャリア教育における高大連携の模索－高校が考えるキャリア教育、大学が考えるキャリア教育－」をテーマとして開催され、学生・生徒、高校及び大学関係者合わせて約50名が参加しました。

パネリストとして、高校教育の立場から、青森県教育庁指導主事の嵯峨 弘章 氏、青森県立青森高等学校進路指導主事の奈須下 晃 氏、青森県立六ヶ所高等学校進路指導主事の尾崎 恵子 氏、企業の立場から、特定非営利活動法人プラットフォームあおもり理事長の米田 大吉 氏、本学からは大学教育の立場から、学生就職支援センター 小磯 重隆 副センター長、人文学部 森 樹男 教授が参加しました。21世紀教育センターの木村 宣美センター長の開会の挨拶の後、戸塚 学FD・広報専門委員会委員長の司会の下、話題提供と熱のこもった意見交換が行われました。



シンポジウムの様子

知財塾（医学編・初級編・中級編）及び 地域共同研究センター事業説明会を開催

本学は、12月16日（月）、17日（火）に本町キャンパス及び文京キャンパスにおいて、客員教授3名を講師とした知財塾「医学編」及び「初級編・中級編」を開催しました。

知財塾は、教職員・学生等を対象に、知的財産の基礎知識や創出、管理、活用等に関する理解を深め、知的財産に対する意識を醸成することを目的に毎年継続して開催しているもので、今回が初めての開催となる地域共同研究センター事業説明会と合同で行いました。

一日目は、辻田幸史弁護士から医学編として、「ライフサイエンス・化学分野の発明の捉え方・出願の仕方～何が発明なのか、何が特許になるのか～」と題し、主に化学・ライフサイエンス分野における特許出願の留意点などについて講演が行われ、参加者は具体的な質疑応答を通して、知的財産制度及び本学の知的財産関係規則への理解が深めていました。

二日目は、富沢知成弁護士から初級編「知的財産の世界～発明、意匠、商標…身近な例も眺めつつ～」と題して、特許出願に関する基礎知識についての説明や身近な話題を取り上げた分かりやすい講演が行われました。続いて、谷田拓男弁護士から中級編「デジタル・コンテンツと著作権～リスクとその回避～」と題し、著作権の説明に、法改正の紹介なども交えた興味深い説明が行われ、参加者がそれぞれの観点から知的財産についての理解を深める有意義な場となりました。

その後、地域共同研究センター長からの挨拶に続いて、同センターの事業説明会も行われ、工藤重光産学官連携コーディネーターから「弘前大学における技術移転の取組について～研究成果を社会に還元するために～」と題し、特許を中心とした知的財産が、その後の研究や技術移転の推進に重要な役割を果たしている事例等が紹介されました。知財塾、事業説明会全体を通して、研究者をはじめとして学生、事務職員、学外者を含む延べ約80人の参加があり、研究成果の社会への還元に向けて、知的財産の重要性への意識が一層浸透しました。



知財塾の様子



事業説明会の様子

推薦入試 I 合格者の入学前交流プログラムを実施

本学では、12月20日（金）、弘前大学創立50周年記念会館において「推薦入試 I 合格者の入学前交流プログラム」を実施しました。

このプログラムは、推薦入試 I 合格者を対象に、入学前に教員や学生と触れ合う機会を設けることによって大学生活等への不安をやわらげ、入学までのモチベーションの維持・向上に繋げることを目的として、保護者の方へも案内し実施しました。

始めに、全体ガイダンスとして佐藤 敬学長から挨拶があり、続いて中根明夫理事（教育担当）から「弘前大学へ入学するにあたり」と題して本学の教育方針や学生支援等について講演を行いました。

その後、合格者は各学部へ移動して、学部別ガイダンス及び推薦入試 I で入学した在學生との交流会を行い、父母の方々には弘前大学後援会の説明、キャンパスの案内を行いました。

最後は、学長・理事（教育担当）・各学部長等と、プログラムに参加した合格者・保護者とで懇親会を行い、最初は緊張の面持ちだった参加者も次第に打ち解け、合格者同士、また本学教職員と和気あいあいに懇談し情報交換するなど、目的に資するプログラムとなりました。



佐藤学長による挨拶



中根理事による講演



石戸谷後援会長による説明



懇親会の様子

人 事 異 動

〔採用〕

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年12月1日		前田 稔 継	技術職員(施設・整計)
平成25年12月1日		三浦 恭 裕	技術職員(施設・整計)
平成25年12月1日		増田 健 一	技術職員(施設・環安)
平成25年12月1日		阿部 尚 央	助教(病院) [H30.11.30まで]

〔任用更新〕

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年12月5日		高井 し の ぶ	教諭(附小) [H25.12.24まで]

〔休職〕

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年12月1日	一般職員(総務・人事)	福士 雅 之	休職更新 [H26.1.31まで]
平成25年12月1日	一般職員(財務・予企室)	島田 裕 介	休職更新 [H26.1.31まで]

〔育児休業〕

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年12月4日	看護師(病院・看護)	岩 淵 美 沙	育児休業開始 [H27.3.31まで]
平成25年12月7日	看護師(病院・看護)	三 橋 亜 里 沙	育児休業開始 [H26.3.31まで]
平成25年12月13日	看護師(病院・看護)	中 村 好	育児休業開始 [H27.3.31まで]
平成25年12月24日	一般職員(病院・総務)	小 林 陽 子	育児休業開始 [H27.4.30まで]
平成25年12月26日	看護師(病院・看護)	藤 岡 香 織	育児休業開始 [H27.3.31まで]

〔離職〕

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年12月19日	看護師(病院・看護)	五 十 嵐 諒	辞職
平成25年12月31日	課長補佐(学務・教務)	工 藤 文 弘	辞職
平成25年12月31日	准教授(医)	川 崎 仁 司	辞職
平成25年12月31日	助教(医)	岡 本 亜 希 子	辞職
平成25年12月31日	助教(保)	鷺 谷 清 忠	辞職
平成25年12月31日	助教(被ばく)	反 町 篤 行	辞職
平成25年12月31日	副看護師長(病院・看護)	中 村 真 由 美	辞職
平成25年12月31日	看護師(病院・看護)	塩 崎 絵 利 香	辞職

■ 主要日誌

- 12月 2日 役員会
- 9日 役員会・役員懇談会
- 10日 教育研究評議会
- 13日 平成25年度弘前大学学術特別賞授与式・受賞者講演会
- 14日 高大連携シンポジウム
- 16日 知財塾・地域共同研究センター事業説明会（～17日）
- 19日 研究委員会
- 20日 推薦入試 I 合格者の入学前プログラム
- 26日 教育委員会

■ 学内規則

(平成25年12月16日改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規則

特定プロジェクト教育研究センターについて、ミッションの再定義を踏まえ、学部等の強みや特色を伸長し、社会的な役割を一層果たすとともに、本学の機能強化に資するため、上記の規則等の一部を改正した。

(平成25年12月16日制定)

○弘前大学特定プロジェクト教育研究センター規程

特定プロジェクト教育研究センターに関し必要な事項を定めるため、上記の規程を制定した。

(平成25年12月16日改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規則

○弘前大学研究戦略企画会議要項

本学に、研究・イノベーション推進機構及び COI 研究推進機構を設置することに伴い、上記の規則等の一部を改正した。

(平成25年12月16日制定)

○弘前大学研究・イノベーション推進機構規程

○弘前大学 COI 研究推進機構規程

○弘前大学 COI 研究推進機構運営会議要項

○弘前大学 COI 研究推進機構戦略支援室要項

○弘前大学次世代健康科学イノベーションセンター要項

研究・イノベーション推進機構、COI 研究推進機構等に関し必要な事項を定めるため、上記の規程等を制定した。

(平成25年12月25日改正)

○国立大学法人弘前大学職員給与規程

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①国家公務員に準拠して55歳を超える職員の昇給について、その者の勤務成績が特に良好である場合に限り行い、標準の勤務成績では昇給しないこととする。
- ②国家公務員に準拠して俸給月額に係る経過措置額を平成26年3月31限りで廃止する。

弘前大学学報第117号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111